

日本認知心理学会公開シンポジウム

認知心理学の

FRONTIER OF COGNITIVE PSYCHOLOGY

フロンティア

XIV

自動運転システムとの付き合い方

— 何が起きるか、どう研究するか —



2022 12.17 (土) オンライン開催 (Zoom使用) 13:00~16:10

参加無料
定員1000名(先着)

運転支援システムと呼ばれる、運転を補助する技術はすでに実用化され、多くのドライバーが利用しています。より高度な自動運転システムをドライバーが運用するにあたり、ドライバーの心理や行動にどのような変化が生じるのでしょうか。また、それはどのように研究できるのでしょうか。本シンポジウムでは、ドライバーが運転支援システムや自動運転システムを信頼し利用することで生じる心理や行動の変化や、より多面的にドライバー状態を測定するための生理的指標の測定方法などに関して、様々な研究知見をご紹介します。

研究者はもちろん、これから心理学を学びたいと思っている高校生の皆様や、今まさに心理学を学習中の大学生の皆様、あるいは自動運転システムに関心のある方々に、本シンポジウムを通じて心理学がどのように社会的問題に対して貢献可能か知っていただく機会になれば幸いです。ウェブ上での開催なので、どなた様も奮ってご参加ください。

企画: 紀ノ定 保礼(静岡理科大学 准教授)

13:00~13:05 趣旨説明 紀ノ定 保礼(静岡理科大学)

13:05~13:45 講演1「自動運転技術の現状と問題点
—自動運転車両とドライバーおよび他の交通参加者との間に生じる過信問題」 平岡 敏洋(日本自動車研究所)

13:45~14:00 講演2「他車の運転支援システムを信頼することが、
ドライバーのリスクテイキング行動に及ぼす影響」 紀ノ定 保礼(静岡理科大学)

14:00~14:40 講演3「自動運転におけるドライバーの運動主体感に対する検討」 温文(東京大学)

14:40~14:55 休憩

14:55~15:15 講演4「自動運転車に対する信頼の規定因の検討」 横井 良典(京都橘大学)

15:15~15:55 講演5「生体信号計測による
自動車ドライバーの注意資源配分状態の評価」 木村 元洋(産業技術総合研究所ヒューマンモビリティ研究センター)

15:55~16:10 ディスカッション

参加申込▶ 下記URLまたはQRコードから必要事項をご入力の上、Zoomへの参加登録をお願いいたします。登録された方にZoomミーティングIDとパスワードをお知らせいたします。なお、ご入力いただいた情報は当シンポジウムについてのみ使用いたします。

<https://onl.bz/DsrqCxX>



主催▶ 日本認知心理学会

連絡先▶ 日本認知心理学会事務局

✉ g-office@cogpsy.jp